

**調査** NPO協働事例調査へのご協力をお願いします

NPOと行政、NPOと企業の協働事例について、愛知県内を対象に調査・分析を行う「NPO協働事例調査」（愛知県委託事業）が始まりました。

この調査では、協働を進める際の参考情報として協働事例の一覧や好事例等を提供することにより、協働の全体的な拡大や質的向上を図ることを目的としています。

2001年度にPSCが愛知県から受託して行った「NPOと企業のマッチング意向調査」から9年。NPOと企業の協働について県内企業1000社を対象にアンケートを実施。実態把握と分析、協働事例の掘り起こしや協働ノウハウの可視化とともに、協働のさまざまなあり方を事例集（報告書）にまとめます。

一方NPOと行政の協働については、県で収集されたアンケートをもとに、協働事例の一覧や協働成功のプロセス、「新しい公」に向けての課題等を事例集（報告書）として作成します。

NPOと企業の協働事例調査において検討委員会を設置、NPOと企業それぞれの立場からアンケート調査の内容等について検討しました。9月1日より調査票を発送いたします。お手元に届きましたら、回答へのご協力をお願いいたします。（下平）



**募集** 11月開講「社会的事業者育成科」受講生を募集!

講座期間は2010年11月から2011年4月までの半年間。現在、受講生を募集しています（応募締切は9月29日）。講座説明会（9月8日・15日、いずれも水曜日）も実施しますので、関心をお持ちの方はぜひご参加ください！

詳しくはPSCのHPをご覧ください。現在開講中の講座は中に紹介しています。（松橋）

**募集** 誰もが自分らしく暮らせるまちづくり活動人材養成講座<ステップアップ編>受講生募集

地域に住まう生活者だからこそ気づく地域の課題、くらしの課題。さまざまな課題に、地域の実情に合った支え合いの担い手を養成する「まちづくり活動人材養成講座」。9月に初級編を開講（29名申込み）、10月からは「ステップアップ編」として、事業立ち上げの体験談を聞いたり、事業プラン作成について学び、個人またはグループで描く事業や活動についてイメージをかたちにしていきます。

団体立ち上げから携わり、現在も活躍中のNPO法人代表者の助言を受けながら、受講者自身が感じている地域の課題を起点に、地域資源の発掘、ネットワークづくり、活動や事業のしくみづくりへと進めていきます。定員になり次第締め切りとなります。みなさまの受講をお待ちしております。（下平）

- ・講座開講 10月2日、9日、30日、11月6日、20日、12月4日、18日 いずれも土曜日
- ・会場 池下ピアザ（地下鉄東山線池下駅より徒歩約2分）
- ・対象 名古屋市在住、または通勤・通学をされている方ならどなたでも
- ・詳細はPSCのHPを参照ください。



**募集** NPOのみならず、より応募しやすくなりました！アイデアだけで助成金を受けられるチャンスです！

**第5回 企業&NPO協働アイデアコンテスト**

**募集期間 9月1日～10月20日**  
**エントリー期間 9月1日～30日**

企業とNPOの協働を進めるために、2006年度から始まった「企業&NPO協働アイデアコンテスト」。本年度も引き続き、中部産業・地域活性化センター（CIRAC）との協働で第5回コンテストを開催します。

今回は募集方法を見直し、「エントリー期間」を新たに設けました。まずは応募の意志を示すべく、団体についての情報（所在地、連絡先、活動概要など）を所定の用紙（PSCのHPよりダウンロードできます）に記入、9月末までにPSCへお送りください。その後、ゆっくりアイデアの内容を検討していただき、正式にアイデア応募（10月20日締切）という流れになります。

第4回コンテストで特別賞を受賞した「世界の都市と日本の重要文化的景観第一号をつなぐP」（八幡酒蔵工房）はその後、企業との協働が実現し、追加助成金10万円を獲得しています。NPOのみならずからの応募をお待ちしています！詳しくは同封のチラシをご覧ください。（木内）



**募集** NPO法人会計基準学習会を開催します

7月に新しい「NPO法人会計基準」が発表されました。NPO法人の情報公開に重要な「会計報告」について、「市民にとってわかりやすい会計報告であること」「社会の信頼にこたえるような正確な会計報告であること」という視点から会計基準が作成されました。PSCもNPO法人会計基準協議会のメンバーとして関わってきた経緯から、いち早く学習会を開催いたします。「NPO法人の会計基準とはどういうものか」「これまでと何が違うのか」「具体的にどのように導入すればいいのか」等について実践面を中心にを行います。みなさまのご参加をお待ちしております。（下平）

- ・日時 9月14日（火）17:30～19:30
- ・会場 池下ピアザ（地下鉄東山線池下駅より徒歩約2分）
- ・対象 NPO法人の会計業務に携わる方々
- ・講師 NPO会計支援センター代表 荻野俊子氏（NPO法人会計基準協議会メンバー、会計の専門家）
- ・参加費（新会計基準・ガイドラインを含みます）PSC会員1,000円（資料代）非会員2,000円
- ・申し込み PSC事務局あてにTEL、FAX、メールにてお申込みください。お申込み時に、所属（団体名）、参加される方のお名前、連絡先（電話番号、メールアドレス）をお知らせください。

**事務局だより**

この夏は、新規事業により事務局スタッフが9名も増えました。事務所内が一気ににぎやかになるとともに、仕事で使う机やパソコンを確保するのも、スタッフ間の事務連絡も大変な状況に。そこで、思い切って事務所内レイアウトを変更しました。2008年まで池下ピアザとして使用し、会議室などになっていた部屋との壁を撤去。机やつい立てを移動し、事務所は開放感あふれるオフィスに変身しました。既存スタッフも心機一転、新鮮な気持ちで仕事に打ち込んでいます。ぜひみなさまも、生まれ変わったPSC事務局にお越しください。（木内）

PSC

パートナーシップ・サポートセンター

# Report 8

Vol.73

NPO  
企業 行政

発行 特定非営利活動法人  
パートナーシップ・サポートセンター(PSC)  
〒464-0067 名古屋千種区池下1丁目11番21号  
ファーストビル4F  
TEL (052) 762-0401 FAX (052) 762-0407  
E-Mail info@psc.or.jp URL http://www.psc.or.jp  
発行人・岸田真代

名古屋開府400年記念

企業・市民・NPOコラボ400

**「企業・市民・NPO協働フォーラム」600名が参加!**



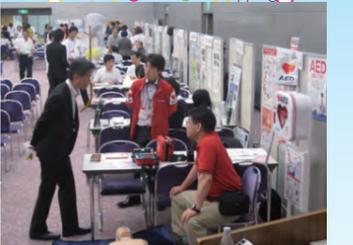
2010年の名古屋開府400年を契機に「企業と市民・NPOがコラボできる社会をつくらう!」を目標に掲げ、2009年度から始まった「企業・市民・NPOコラボ400」。事業のフィナーレを飾る「企業・市民・NPO協働フォーラム」を、7月16日に名古屋国際会議場4階レセプションホールにて開催しました。ブース出展者や一般参加者など約600名の方が来場し、会場は終日、活気にあふれました。

フォーラムでは、愛知、岐阜、三重の東海3県から、37の企業とNPOが協働アイデアを持ち寄り、ブースを出展。出展者は併せて、ステージで活動や協働アイデアを3分間の持ち時間でアピールするプレゼンテーションにも挑みました。

プレゼンテーションに先立ち、ステージでは積水ハウス株式会社の佐々木正顕氏が基調講演。名古屋市のCOP10開催を間近に控え、生物多様性をテーマにNPOと企業の協働について、自社での経験をふまえて語っていただきました。

会場内では194件の商談（出展ブース内での協働についての相談）が行われ、「協働マッチングボード」には多くの「協働しませんか」と呼びかけるメッセージが貼られました。参加者からは「びっくりなしにブース訪問者があつた」「さまざまな企業、NPOに出合える良い機会だった」「自分たちの活動の原点を再確認できた」など、多くの喜びの声をいただきました。

エンディングでは、マッチング結果の中間発表の後、PSC岸田代表が「今、企業とNPO、そして行政に求められるもの」と題してミニ講演。コラボ400事業全体をふりかえり「今日をきっかけに企業とNPOの協働を具体化し、それぞれの社会的責任を積極的に果たしていきましょう」と会場に呼びかけました。（木内）



▲展示ブース



▲はち丸くんも応援

バイオリンの生演奏▶



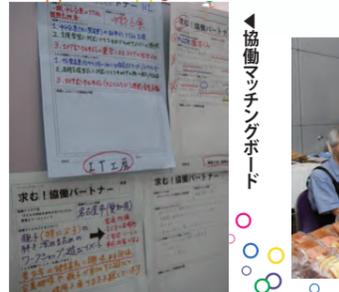
▲運営委員らで会場を準備



▲名古屋市の山田副市長による開会あいさつ



▲基調講演



▲協働マッチングボード



▼オープニングで出展者登壇



**「第7回パートナーシップ大賞」たくさんのご応募ありがとうございました!**

～北は北海道!南は九州から!～  
「第7回パートナーシップ大賞」は7月31日で応募受付を締め切りました。今回もさまざまな分野で活動する団体・企業からの応募が全国から集まり、その数は30事例となりました。8月28～29日の第一次審査（書類審査）では、審査員・調査スタッフによる活発な議論が繰り広げられ、厳選なる審査の結果、11事業が第二次審査に進むことになりました。このあと1ヵ月ほどをかけて、調査スタッフによる現地ヒアリング調査が始まります。

**「第7回パートナーシップ大賞 最終審査&表彰式」**

第二次審査を通過した事例について、最終プレゼンテーションを行っていただきます（詳しくはHPをご覧ください）。

**2010年11月27日（土）13:30～**  
**ウィルあいち大会議室（名古屋市中区上野町1）**

- 7/1(木) コラボ400・協働フォーラム出展者説明会、シニアボランティア会議
- 7/5(月) CBCラジオ「名古屋市だより」PSC岸田代表理事生出演
- 7/6(火) SR円卓会議/人を育むWG会議(経団連)
- 7/7(水) 愛知県委託事業打ち合わせ
- 7/8(木) 保養所月例ミーティング
- 7/9(金) コラボ400・協働フォーラム運営打ち合わせ(名古屋JC、岡崎まち育てセンター、YOKO坂井田氏)、雇用能力開発機構来所
- 7/12(月) 保養所研修
- 7/14(水) なごや環境大学幹事会
- 7/15(木) カフェ・アイリス運営会議
- 7/16(金) コラボ400「企業・市民・NPO協働フォーラム」(名古屋国際会議場)①
- 7/17(土) ファンドレイジングブ力育成講座(参加)
- 7/20(火) CEO会議(日本NPOセンター)、NPO法人会計基準の発表(NPO法人会計基準協議会/東京)
- 7/21(水) CEO会議(同上/東京)
- 7/24(土) 「早瀬昇さん、これからはよろしくね、の会」(大阪ボラ協)
- 7/25(日) 大津市市民活動センターにて講演「NPOと企業のコラボが地域を救う！」
- 7/26(月) 第5回協働アイデアコンテスト・CIRAC打ち合わせ、愛知県委託事業打ち合わせ、CSOラーニング勉強会(講師)名古屋交通問題調査会
- 7/27(火) 愛知県来所(NPOと企業の協働検討会議打ち合わせ)、安田サロン企業勉強会(池下ピアザ)
- 7/28(水) ステップコーポレーション・こもれびの会・ドリーム来所(協働フォーラム報告・相談)
- 7/29(木) 「第7回パートナーシップ大賞」募集締切日
- 7/31(土) 「第7回パートナーシップ大賞」募集締切日
- 8/1(日) あいち未来塾1期生グループ活動取材③
- 8/5(木) 名古屋公共事業評価監視委員会(現地視察)、あいち未来塾2期生塾生相談③
- 8/6(金) 愛知県NPOと企業の協働に関する検討会議(第2回)②
- 8/7(土) 愛フェス出展者説明会
- 8/8(日) ファンドレイジングブ力育成講座(参加)
- 8/8(日) 保養所経営ミーティング(-9日)
- 8/9(月) 協働事業模擬仕分けWS打ち合わせ(刈谷市)④ 愛知県「協働事例調査」検討委員会(第1回)
- 8/10(火) マンパワーサポート事業講座説明会
- 8/19(木) シニアボランティア会議
- 8/21(土) ファンドレイジングブ力育成講座(参加)
- 8/23(月) 保養所月例経営会議、マンパワーサポート事業講座申込締切
- 8/24(火) 南部薬品来所
- 8/25(水) カフェ・アイリス運営会議、東海ゴム工業CSR報告書ヒアリング
- 8/26(木) あいち未来塾2期生グループ活動相談③ あいち・子どもNPOセンター来所、アクティオ来所
- 8/27(金) 名古屋交通問題調査会、中部財界取材、コングレ来所
- 8/28(土) 「第7回パートナーシップ大賞」第一次審査(-29日)
- 8/30(月) Nサボ幹事会&開所式
- 言論NPO全体会(東京)

**2** 愛知県「第2回NPOと企業の協働に関する検討会議」

第2回目の今回は、8月6日(金)にあいちNPO交流プラザにて、行政・企業・NPOから14名が参加し開催されました。冒頭あいさつのおと、PSC岸田代表が7月16日の「企業・市民・NPO協働フォーラム」を写真でふりかえりながらNPOと企業と行政の協働について報告。NPOと企業の協働を表彰する「パートナーシップ大賞」の意義とともに、協働のしくみについても提案しました。その後、質疑応答があり各セクターがそれぞれの立場から、意見を出し合い活発な話し合いになりました。(岡)



**1** 企業・市民・NPO コラボ400

名古屋開府400年記念「企業・市民・NPO 協働フォーラム」

協働の商談件数194件、「協働したい」54件！  
マッチング・商談コーナーも大にぎわい

フォーラムの主目的のひとつ、NPOと企業の協働めざしてマッチングさせようと、会場の中央に設けた「マッチング・商談コーナー」。マッチングボードには、ブース出展した企業やNPOだけでなく、当日の一般来場者も協働相手を求め、企業・団体名と「協働でこんなことがしたい」「こんなパートナーを探してます」などをびっしりと記入した紙が、所狭しと貼られました。参加者はじっくりとPRシートを吟味した後、ブースなどで協働に向けた商談を開始。その場で話が盛り上がり「ぜひ協働したい」とマッチングが「成立」したのは54件のほり、ブース訪問の相談内容を記録したもののだけでも、商談件数は194件を数えました。マッチングコーナーでは、コラボ400運営委員による「協働コーディネーター」が商談をサポート。少しでも協働マッチングの可能性が高まるよう、また1件でも多くマッチングが成立するよう、相談ののりたり展示ブースを回ったりして、対応していました。

協働相手を探しPR  
工夫を凝らした展示ブースとプレゼンテーション

企業やNPOの活動を紹介し、協働アイデアをPRする展示ブースには、東海3県から企業14社、NPO23団体が出展しました。長机1つとついで構成したコンパクトなブースに、各自が趣向を凝らして看板やパネル、チラシなどを配置。協働相手を見つめるべく、PR合戦を繰り広げました。ブースと併せ、出展者はステージでも協働アイデアをアピール。3分間という短い時間の中でも効果的なプレゼンテーションをしようと、それぞれが工夫を凝らしていました。フォーラムのオープニングで、開会あいさつに立った名古屋市の山田雅雄副市長は「ここはまるで、1つの街ができたようににぎわっている。すばらしい」と絶賛されました。(木内)



展示ブースでのPR  
プレゼンテーション



大にぎわいのマッチング・商談コーナー  
会場準備の様子



当日は、コラボ400運営委員など関係者は午前9時前に会場に集まり、機材搬入など、準備作業にご協力いただきました。みなさんテキパキと迅速に動いてくださったおかげで、搬入、搬出作業は予定時刻より早く終えることができました。社会的事業者育成科受講生23名も、当日運営スタッフとして貴重な「戦力」になりました。ブース出展者も交えたフォーラム後の懇親会は、国際会議場内レストランで開催。名古屋市の河村市長よりあいさつをいただき、副市長も参加されるなど、最後まで大盛り上がりでのフォーラムとなりました。

懇親会には河村市長も参加



基調講演「本業を活かしてNPOとコラボする〜『5本の樹』と生物多様性」  
佐々木正顕氏(積水ハウス(株)環境推進部部长)

講演タイトルにも使われている「『5本の樹』による生物多様性保全事業」は、「3本は鳥のために、2本は蝶のために」のCMでも知られており、本業を活かしたシェアリングアース協会との協働で、第6回パートナーシップ大賞に入賞しています。講演の中で佐々木氏は、この協働事例を分かりやすく紹介。これから協働を目指す企業は「NPOに新しいアイデアを求めてほしい」、NPOは「恐れることなく、企業へ自分たちの言葉で想いを伝えて」と、双方にメッセージを送りました。最後に「この名古屋から、生物多様性の輪が広がっていくことを願っています」と締めくくりました。(木内)



PSC代表岸田の「東へ西へ」(2010年7月8日)

7月は何と言っても7/16(金)のコラボ400事業の集大成である「企業・市民・NPO 協働フォーラム」(名古屋国際会議場)の実施である。1~3面の特集でもおわかりのように、おそらく全国初であろう企業、NPOそれぞれからの協働事業のアイデア提案を柱にした催しは、予想を倍近くも上回る600名を集め、内容も豊富で、名古屋市長、副市長3名をはじめとして口々に「すばらしい!」「ぜひ次年度も!」の声を聞く大成功事業として終えることができた。それに向けての経済団体やNPO支援センター、名古屋市による実行委員はもとより、スタッフの取り組みが本番直前まで続けられたのは言うまでもない。市の地下鉄の全駅にポスターを掲示していただいたり、7/5(月)には、私自身もCBCラジオ「名古屋ターフボイノリオ氏と」。

7/6(火)は東京(経団連会館)で、SR円卓会議/人を育むWG会議の初会合に出席。前述のフォーラムの報告を、次回会議でさせていただくことになった。7/8(木)保養所月例ミーティング、7/12(月)保養所研修で伊良湖へ。7/20(火)~7/21(水)にかけてはNPO法人会計基準協議会メンバーとしてNPO法人会計基準の発表への参加と日本NPOセンター主催のCEO会議で東京へ。7/24(土)は大阪ボランティア協会と長く事務局長を務めた早瀬昇さんの退職に伴う「早瀬昇さん、これからはよろしくね、の会」

講座修了に向け、いよいよ事業計画へ  
「社会的事業者育成科」  
(中央職業能力開発協会委託事業)

5月から始まった「社会的事業者育成科(6ヵ月コース)」。

7月~8月の大きな目標は、前半の講義で得た知識の定着と専門力のアップ。NPO団体など14ヵ所の研修先にご協力いただき、6日間のインターン研修(職場体験)を2回(計12日間)実施しました。研修のふりかえりでは、「地域の課題が見えてきた」「活動内容がよりよく分かった」「人のつながりができた」といった感想が多く挙げられ、講義を聴くだけでは得られない収穫があったことがよく伝わってきました。



森の中を歩き回って、  
NPOの活動を体験

また、NPOの会計や広報、企画づくりの演習、フィールドワーク(調査と分析)などを行い、実際に事業を運営する上で必要な考え方や知識などについて、多面的な学びを重ねました。9月中旬からは、いよいよ事業計画の作成へ。この4ヵ月間で学んだことを活かし、個々の想いを形に変える段階へと入っていきます。11月に開講する社会的事業者育成科の受講生も募集しています。詳しくは、4面またはPSCのHPをご覧ください!9月29日(水)締切です。(松橋)

4 「協働事業模擬仕分け(役割分担)モデル市町ワークショップ事業」  
愛知県社会活動推進課委託事業

2010年度「協働事業仕分け」は  
尾張と三河の2市町で実施

本年度は、「協働担当窓口以外の行政職員の参加拡大」を目標のひとつに据えてスタート。

市民、あるいは第三者の視点を加味して事業を捉え直し、取り組みの枠組みを再考しようという協働事業仕分けの手法を、広く行政職員の方に体験してもらいたいと考えています。もちろんNPOのみならずにも多数参加いただき、仕分け人も務めていただきながら、協働によって活性化させる事業の掘り起こしをお願いしたいと思います。

講師、コーディネーターは、委託元の希望もあって昨年度と同じ石井良一、岸田眞代両氏のコンビ。事務局は昨年度も担当した村田に、新たに採用した加藤が加わった2名体制で推進していきます。(村田)

(大阪)に参加(写真右)。その後16日のフォーラムにもご登壇いただいた積水ハウスの佐々木氏に、8000㎡もある本社のすばらしい里山を案内していただいた。翌7/25(日)は大津市市民活動センターにて「NPOと企業のコラボが地域を救う!」と題して講演。そこでご一緒した「第5回パートナーシップ大賞」グランプリ受賞者石坂線21駅の顔づくりグループの福井代表と、京阪電鉄大津事業部の木村氏も合流して京都で食事、親交を温めた。

8/5(木)には名古屋公共事業評価監視委員会で市内4ヵ所を現地視察。8/8(日)~8/9(月)は保養所に宿泊し経営ミーティング。8/25(水)には東海ゴム工業(小牧市)にCSR報告書のヒアリングへ。8/28(土)~8/29(日)は2年ぶりになる「パートナーシップ大賞」の第一次審査。8/30(月)はまたまた東京へ向かい、Nサボ幹事会と新事務所の開所式に参加予定。(2010.8.20 岸田)



3 あいち未来塾

2期生は、2年目カリキュラム「創造実践」としてグループでの実践活動が本格稼働。グループのひとつ「チームHAPPYパパ(活動テーマ:父親の子育て支援)」では、8月~10月に「パパと一緒にいきものみつけ」等のイベントを開催します(詳細は次号以降で紹介)。一方、1期生の「子どもがやるっ!」グループは、卒業後も引き続き活動を継続。在塾中から着々と準備してきたプランをプロデュースしました。その体験レポートをご紹介します。

ドキドキの地域プロデュース

8月1日(日)、岡崎市にある図書館交流プラザLibraにて「いのちを育むためにできること」をテーマに「いのちの博覧会」を開催しました。かねてより構想を練っていたイベントで、あいち未来塾のグループメンバーと共に実行委員会を編成。企画・運営に「創造実践」での経験を活かし、大活躍してくれました。1年余に渡る準備期間中には助成金の申請や主催団体の変更、ボランティアさんの入れ替わり等、壁にぶち当たることがたくさんありましたが、あいち未来塾の仲間の支えによって実現できたと思っています。イベント当日は2000人の市民の方が来場下さり、みなさまに感謝の気持ちでいっぱいです。

(1期生 水野雅子)

